

検 定 意 見 書

受理番号 103-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	8	4	catch sea bream	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
3	13	側注 7行	フィシャメン	生徒にとって理解し難い表記である。 (側注9行fishermanの発音表記及びフィシャマンに照らして、理解し難い。)	3-(3)	
4	28	2段目	dissatisfiedのイラスト 他：3段目patient, 4段目impatient	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (意味について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	28 - 29		Word Box(全体) 他：54, 55, 68, 69, 90, 91, 154, 155ページのWord Box(全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
6	33	側注 9行	rebornの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
7	39	脚注 1行	clarinetの発音表記	表記が不統一である。 (同行marathonに照らして、第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)	
8	40	上段①	Your Turn!(全体) 他：41ページ③, 119ページ②, 146ページ①のYour Turn!(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
9	54 - 55		Word Box(全体) 他：68, 69, 154, 155ページのWord Box(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
10	55	中段吹き出し	Thank you for breakfast.	英語の現代慣用によっていない。 (breakfast)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	66	下囲み	伊藤ネコのつぶやき	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (言葉遣い)	3-(3)	
12	69	左下①	leather shoeの発音表記 他：87ページ脚注2行buckwheat flour, 104ページ脚注1行immigration officerの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
13	122	図	カカオ豆の生産と消費	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
14	128	グラフ	アナが見つけたグラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。	3-(3)	
15	141	下段	Fun Talk!(全体)	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	表見返 1	下段左 写真	自動販売機の飲料水 他：52ページ上段の同写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (綾鷹, 爽健美茶)	2-(7)	
3	表見返 2	下段右 写真	Lesson 10のロボットの写真 他：73ページ下段右, 154ページ上段左, 159ページ上段中央の写真	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (RoBoHoN)	2-(7)	
4	3	下段 右	Power On 他：8ページ5行, 184ページ4段, 187ページ4, 5段, 189ページ1段の同表現	誤記である。	3-(2)	
5	4	下段 左	「Plus One 自分のことを1文で話したり…します。」及び12ページ中段Plus One (全体) 他：各Lessonの各PartのPlus One (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語コミュニケーションⅡ」で行う「話すこと[やり取り]」の学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
6	12	Read 吹出	4行 that woman 他：下段Grammar3行, 13ページ7行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (woman)	3-(3)	
7	14	Gram ma	2行 Play me 他：18ページSummary 2の6行の同表現	表記が不統一である。 (15ページ8行Play Meと表記が不統一)	3-(4)	
8	15	側注 5行	Peterの発音表記	表記が不統一である。 (29ページ側注18行cheaplyの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
9	23	中段 囲み1段	orangeの発音表記 他：中段囲み2段perfect, Act It Out! 2.cabbage, 3.sausage, 29ページ側注24行complain(s), 51ページ中段囲み2行reform, 4行present, 5行	表記が不統一である。 (29ページ側注3行managerの第2音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
			explain, 6行contribute, contribution, Act It Out! 3.academic, 4.communication, 176ページ側注8行religionの発音表記			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	23	Act It0	1. potatoの発音表記 他：51ページ中段囲み2行 reformation, 4行presentation, 5行 explain, explanation, Act It Out! 4. communication, 6. decorationの発	表記が不統一である。 (13ページ側注8行stranger(s)の第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
			音表記			
11	26	イラスト2	5\$	誤記である。	3-(2)	
12	29	側注26行	productionの発音表記	表記が不統一である。 (51ページ中段囲み2行reformationの語末の発音表記と不統一)	3-(4)	
13	31	上段左写真	タグに書かれたEnvironmeltalの文字	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
14	44	Guess1	burn down 他：58ページ3. stray animals	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
15	47	Vocabulary	1. r□□□ □□□□d	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
16	49	中段囲み	PR(2箇所)	誤記である。	3-(2)	
17	49	Scene3	クラスメートとやり取りをしましょう。 他：151ページScene 3「ペアでインタビューをしましょう。」	相互に矛盾している。 (指示文と当該レッスンにおけるSpeaking (Presentation)の目標との対応)	3-(1)	
18	51	上段漫画4	レフォメーションに近いわね。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (reformationの発音について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	51	中段囲み3行	Japanの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
20	51	中段囲み6行	contributionの発音表記	表記が不統一である。 (97ページ側注3行opportunitiesの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
21	55	上段右グラフ	“The number of vending machines in Japan” のグラフ	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)	
22	56	Read2段	自動販売機のCoke ON Payの文字	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Coke ON)	2-(7)	
23	57	Try It!	1. LINE	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
24	62	下段	Listen and Answer3段4行 Why?	英語の現代慣用によっていない。 (3段3行Other people don't like it.との対応)	固有 2-(1)	
25	78	Read	1段1行 Mr. Takashi	表記が不統一である。 (2段1行Mr. Takahashiと表記が不統一)	3-(4)	
26	78	Grammar	4-5行 interested, interesting 他：79ページTry It!2.A: surprised, 85ページGrammar for Communication 吹き出し3行interested, 185ページ4 段2行interested	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (分詞について誤解するおそれ)	3-(3)	
27	97	側注3行	opportunitiesの発音表記 他：側注5行opportunityの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
28	114	下段	Grammar (全体) 他：162ページのGrammar (全体) 及び 「文法のまとめ」184ページ4段現在完了 進行形, 185ページ1段S+V, 2段S+ V+C, 5段S+V+O, 7段S+V+O1+O2,	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について，言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			187ページ4段where, 5段when, 188ページ4段when, 190ページ4段whoever, 5段whichever, 6段whatever, 7段wherever, 8段whenever, 9段however			
29	129	上右キャプシ	バングラデッシュ	表記が不統一である。 (136ページ下段右写真キャプション「バングラデッシュ」と表記が不統一)	3-(4)	
30	137	上段漫画1	A and B and C, A and B and C, 他：中段囲み1行 A and B and C.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
31	137	中段囲み	alligatorに付された丸印 他：Act It Out!2. (全体)	不正確である。	3-(1)	
32	138	上段	「米国における男女別就業率の推移」 のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
33	144	Gue ss1	attend	生徒にとって理解し難い表現である。 (イラストとの対応)	3-(3)	
34	150	下段 1.	in 1900	相互に矛盾している。 (Scene 1の1行では1900年頃と表記)	3-(1)	
35	154	中段左 写真	掃除ロボット 他：159ページ上段中央の同写真	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。 (iRobot)	2-(7)	
36	157	側注 25行	ASIMOの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)	
37	169	中段囲み	3行 I can't see them.	英語の現代慣用によっていない。 (them)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
38	169	Act It0	2. A: What did they look at?	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
39	172	2	her life	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (代名詞について誤解するおそれ)	3-(3)	
40	178	13	people 他：196ページ左欄20段temperature	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
41	186	Try It!	2. A lot of people were attracted ... these days.	英語の現代慣用によっていない。 (時制)	固有 2-(1)	
42	191	2段 4.	SNS	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-204		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	10	Warm-U	「読む活動」のアイコン	相互に矛盾している。 (Warm-Upの活動内容とアイコンとの対応)	3-(1)	
2	10	6-8	They are asking Jess, who works at the front desk at their hostel for recommendations on things to see.	英語の現代慣用によっていない。 (コンマがない。)	固有 2-(1)	
3	12	6	they are the tallest bird that have ever lived.	誤りである。 (birdとhaveの対応)	3-(1)	
4	15	上段	G1 他：29ページG3, 45ページG5, 75ページ(全体), 105ページG13, 119ページcf., 149ページG16及び185～187, 189, 191, 194ページのGrammar	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			Exercises (全体)			
5	26	グラフ	Esports viewership 2017-2020	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
6	26	グラフ	2017-2020	誤記である。 (ハイフン)	3-(2)	
7	35	下段	Extra Activity	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Debateで反論の場面がなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
8	44	グラフ	Greenhouse gas emissions	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
9	45	下段	Language Focus (全体) 他：75, 105ページLanguage Focus(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-204		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	46	写真右欄2段	protein	表記が不統一である。 (語頭の小文字)	3-(4)	
11	49	11	It could make Japanese food	英語の現代慣用によっていない。 (主語と動詞の対応)	固有 2-(1)	
12	51	STE P3	a title is usually phrase 他：118ページ大問2 1行add summaries, 168ページ大問3Wow, great story!	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない)	固有 2-(1)	
13	55	大問2 1行	Choose any amazing inventions	英語の現代慣用によっていない。 (any)	固有 2-(1)	
14	62	タイトル	Listicle	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
15	62	3	where on earth the receivers are	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
16	62	16	vital to save lives	英語の現代慣用によっていない。 (save)	固有 2-(1)	
17	90	中段左 写真	NEW YORK TIMES BESTSELLER	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	102	右欄 8行	six years-old	誤記である。 (ハイフン)	3-(2)	
19	110	1	a 2,000 yen banknote 他：110ページ2行, STEP 1 1行, STEP 3 10行., 111ページSTEP 4 1-2行の a banknote及び111ページSTEP 7 6行 a new banknote	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-204		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	117	2	nonsense. but	誤記である。 (ピリオド)	3-(2)	
21	155	4	pp. 34-35	相互に矛盾している。 (該当ページにpresentationがない。)	3-(1)	
22	169	Reading	be in for a surprise	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
23	174	Reading	thankfullyの発音表記 他：184ページ15行ruefullyの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)	
24	178	Reading	redesignの発音表記 他：179ページ右欄8行reshareの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
25	182	Reading	better-roundedの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
26	185	下段	大問D	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのようなエッセイを書くのか理解し難い。)	3-(3)	
27	186	大問D 3行	replaced with] a new one.	誤記である。 (括弧の位置)	3-(2)	
28	192	大問D	「話す活動(やり取り)」のアイコン	相互に矛盾している。 (活動内容とアイコンとの対応)	3-(1)	
29	193	大問C 2行	ペアなって	脱字である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	2	25	In Order to Spend Happy Life 他：117ページタイトル, 119, 121, 123, 125ページ小口	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	4 - 7		GET READY(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	10	6	the wonderful marine activities 他：14ページ9行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
8	11	下囲み	HINTS≫pp. 138-141 他：各レッスン下囲みCOMMUNICATE及びACTIONのHINTS	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)	
9	12	脚注 3行	ATMの発音表記 他：144ページ右欄51行	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
10	15	大問2 2番	a piano, an acoustic guitar	表記が不統一である。 (the drumsに照らして、冠詞が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	18	DAT A	金印で知られる中国の魏志倭人伝	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (魏志倭人伝について誤解するおそれ)	3-(3)	
12	20	6	various foods arose	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)	
13	32 - 33	写真	ビックカメラ及びBic Camera 他：38ページDATAガチャガチャミュージアム	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	38	2 - 3	Capsule toys are getting items to	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	40	下段	SKILLS(全体) 他：82ページSKILLS(全体)	不正確である。 (説明及び例が不正確)	3-(1)	
16	54	DAT A	アラブ人・パレスチナ人	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アラブ人とパレスチナ人であると誤解するおそれ)	3-(3)	
17	58	写真	難民キャンプ	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な難民キャンプと誤解するおそれ)	3-(3)	
18	58	脚注 1行	Samahの発音表記 他：155ページ右欄2行	不正確である。 (語末の発音表記)	3-(1)	
19	59	KEY WOR	religion 他：71ページhumanity, 93ページ audience, 111ページhealing	生徒にとって理解し難い表現である。 (イラストとの対応)	3-(3)	
20	67	COM MUN	AI robot is helpful.	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	70	7	humanity 他：71ページCHECK②Humanity	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	85	下段	完了形のTRY(全体) 他：126ページ関係代名詞, 127ページ 仮定法のTRY(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
23	90	4	using subways 他：94ページ4行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
24	90	DAT A	民営・準公営地下鉄には…千葉県東部 の7つがあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (千葉県東部の地下鉄)	3-(3)	
25	102	DAT A	セルフイーを…マイアミでした。	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
26	106	GOA L	場所・時・理由と文をつなぐ「～する …」などの言い方	生徒にとって理解し難い表現である。 (関係副詞との対応)	3-(3)	
27	108	DAT A	フィンランドの…人口に近いです。 他：110ページヘルシンキでは…続き ます。	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
28	110	9	a healing smile	英語の現代慣用によっていない。 (healing)	固有 2-(1)	
29	111	KEY WOR	arctic 他：123ページmanner	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
30	120	8	four C's 他：121ページCHECK5行	誤記である。 (アポストロフィ)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	125	下段	ACTION(全体)	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	
32	132	7	tears, or some had	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
33	132	脚注 2行	coronavirusの発音表記 他：147ページ左欄39行	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
34	133	4	on the frontline 他：側注8行frontline, 149ページ中欄40行frontline	英語の現代慣用によっていない。 (frontline)	固有 2-(1)	
35	134	脚注 2行	Gregoriusの発音表記 他：150ページ左欄7行	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	8	6 - 7	the wonderful marine activities 他：14ページSummary2行the (m) activities	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
4	10	9	their own personality	表記が不統一である。 (15行its own unique featureと代名詞が不統一)	3-(4)	
5	10	側注 16行	ATMの発音表記 他：20ページ側注15行horsemeat, 60ページ脚注3行coronavirus, 65ページ脚注3行varnish, 66ページ脚注2行CT scan(s), 149ページ脚注1行humming,	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
			181ページ脚注2行Ludwig van Beethoven, 183ページ脚注1行Dale Carnegie, 184ページ脚注1行Charlie Chaplinの発音表記			
6	13	中段	Grammar (全体) 他：37, 103, 117, 155ページのGrammar (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	14	中段	Productionに付されたアイコン 他：各LessonにあるProductionに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
8	16 折込み 裏表	沖縄県の図	竹富島	表記が不統一である。 (折込み裏 牛車の写真キャプション「竹富島」と表記が不統一)	3-(4)	
9	16 折込み 裏	上段	伊平屋島 (沖縄県最北端) 他：下段 波照間島 (日本最南端)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有人・無人の説明がなく、島の位置について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	20	脚注5行	金印で知られる中国の魏志倭人伝	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (魏志倭人伝について誤解するおそれ)	3-(3)	
11	25	Grammar	3行 a meat	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有2-(1)	
12	29	CHALLENGE	[A] including for Mozart 他：65ページ3行said about on the violin, 134ページ18-19行begged to him	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有2-(1)	
13	32	側注9行	sympathizeの発音表記 他：66ページ脚注3行length, 83ページ脚注2行theme(s), 136ページ側注6行enthusiastically, 156ページ側注6行thieves, 179ページ脚注1行Martha,	不正確である。 (子音表記)	3-(1)	
			180ページ脚注1行faith, Luther, 181ページ脚注3行Dorothy, 脚注4行pathetic, 182ページ脚注2行faithfully, 184ページ脚注2行Ruthの発音表記			
14	40	大問1 図右	4行 All 他：6行Volunteers, 7行We, 9行All Volunteers	誤記である。	3-(2)	
15	44	4-5	Helsinki Vantaa International Airport 他：17-18行, 脚注1-2行の同表現	表記が不統一である。 (52ページSummary2行Helsinki-Vantaa International Airportと表記が不統一)	3-(4)	
16	44	側注8行	Vantaaの発音表記 他：側注15行Kiitos, 46ページ側注7行Korvatunturi, 50ページ側注15行Tove Jansson, 60ページ脚注1行Almando, 脚注2行Schindler, 64ページ	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
			脚注1行Gregorius, 65ページ脚注2行Ma, 70ページ下段囲み4行Ahmed, 76ページ側注Samah, 108ページ側注10行Kley, 182ページ脚注1行Vincentの発音表記			
17	44	脚注6-7行	フィンランドの面積は…日本の1/23程度です。 他：48ページ脚注4行「フィンランドはコーヒー消費量世界1位です。」	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
18	45	Compre	大問1. 右欄2行 landingn 他：98ページ表5段Tranditional, 110ページProduction advenced, 146ページ上段左geneal, 185ページ脚注1行flet(ting)	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
19	46	側注10行	respond(s)の発音表記	誤植である。 (不要な括弧)	3-(2)	
20	47	Compre	大問2. の1. the capital city of the Lapland	表記が不統一である。 (46ページ1行capital city of Laplandと表記が不統一)	3-(4)	
21	48	側注3行	mug(s)の発音表記 他：120ページ側注7行decrease(d), 152ページ側注10行pictogram(s), 180ページ脚注1行survive(s)の発音表記	不正確である。 (括弧内の子音表記)	3-(1)	
22	52	中段左写真	function beauty	表記が不統一である。 (48ページ17行functional beautyと表記が不統一)	3-(4)	
23	54	大問1.	FINLAND IN FACTS 他：144ページ大問1. “Volunteers dispatched to 96 countries”	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
24	60	4	Almando 他：脚注1行, 4行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (曲名について誤解のおそれ)	3-(3)	
25	62	3	on the frontline 他：脚注1行, 194ページ中欄49行のfrontline	英語の現代慣用によっていない。 (frontline)	固有 2-(1)	
26	64	脚注3行	Gregorious	表記が不統一である。 (脚注1行Gregoriusと表記が不統一)	3-(4)	
27	68	大問A	Section 4の4行 are held the () music hall.	表記が不統一である。 (想定される答えと66ページ13行are held in the chamber music hall.の表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
28	69	イントネーション	下降上昇型(2箇所), 上昇下降型(2箇所) 他: 99ページ「イントネーション」2行 上昇下降型	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イントネーションの型について誤解するおそれ)	3-(3)	
29	69	音の脱落	2行 息	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)	
30	69	音の脱落	[p], [b], [d], [k], [g]の脱落の2つの例文及び[t]の脱落の2番目の例文	不正確である。 (「音の脱落」の説明との対応)	3-(1)	
31	72	上段	パレスチナの難民キャンプ	表記が不統一である。 (脚注1-2行「パレスチナ難民キャンプ」と表記が不統一)	3-(4)	
32	72	16	through air 他: 143ページ大問Ⅲ2. watching live concert	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
33	72	側注1行	conflictの発音表記 他: 82ページLet's Try 1. 資料下 conflictの発音表記	不正確である。 (本文1行conflictに照らして, 発音表記が不正確)	3-(1)	
34	72	脚注4行	イスラエル内の地域の領有をめぐって	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (領有をめぐる地域について誤解するおそれ)	3-(3)	
35	75	Expres	2行 his organs 他: 83ページCHALLENGE2-3行 these songs (2箇所), 122ページ13行them	生徒にとって理解し難い表現である。 (代名詞が何を指すのか不明確)	3-(3)	
36	75	Expres	3行 Yes. の場合	表記が不統一である。 (77ページExpressionと回答の仕方が不統一)	3-(4)	
37	77	Grammar	2. I would like to (developing / volunteer / do / in / countries).	英語の現代慣用によっていない。 (想定される答えのdo volunteer)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
38	79	Exp res	create peaceful world	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
39	81	大問 I 4.	get well early	英語の現代慣用によっていない。 (early)	固有 2-(1)	
40	87	Exp res	4行 it, It	相互に矛盾している。 (Expression3行themとの対応)	3-(1)	
41	88	14	AI robot.	誤記である。 (ピリオド)	3-(2)	
42	93	Com pre	大問2.の2. What is the situation called that ... by 2045?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
43	99	音の同化	6行 I used to live in this town.	不正確である。 (「有声音が無声音に変化」の説明との対応)	3-(1)	
44	99	音の同化	11行 would youの発音表記 他：「音の同化」13行don't youの発音表記	不正確である。 (子音表記)	3-(1)	
45	100	下囲み 3行	3. 人の役に立つこととは何か、積極的に話し合ってみましょう。	生徒にとって理解し難い表現である。 (Lesson内に該当する活動がなく、どのように話し合うのか理解し難い。)	3-(3)	
46	103	Exp res	2行 What do you feel 他：135ページComprehension大問2.の 1.How was the condition	英語の現代慣用によっていない。 (疑問詞)	固有 2-(1)	
47	104	側注 4行	worthyの発音表記	不正確である。 (第2音節の子音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
48	108	側注 3行	Karsten Suhrの発音表記 他：側注9行Marion Suhrの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)	
49	111	大問Ⅱ 3.	about	誤りである。 (不要な語)	3-(1)	
50	111	大問Ⅲ 2.	My mother said to me yesterday.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
51	112	Exp res	2行 to move	表記が不統一である。 (Expression Box1行loseに照らして、動詞の表記の仕方が不統一)	3-(4)	
52	126	大問 1.	『文部科学省統計要覧』	不正確である。 (出典名)	3-(1)	
53	127	CHA LLE	[B] a clue to overcome	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
54	127	CHA LLE	[C] had got used to going ... since he was a child.	英語の現代慣用によっていない。 (got)	固有 2-(1)	
55	129	上段左	Who done it?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
56	129	脚注 1行	breakdancig及び発音表記	誤りである。 (スペリング及び第2音節の母音表記)	3-(1)	
57	129	脚注 1行	onlineの発音表記 他：149ページ脚注1行punchline, 158 ページ側注6行persimmon(s)の発音表 記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
58	130	上段右	It's the end of the earth!	英語の現代慣用によっていない。 (the earth)	固有 2-(1)	
59	138	13	future?	誤記である。 (クエスチョンマーク)	3-(2)	
60	144	Exp res	educational assistances 他：177ページCHALLENGE[A]any other materials, 175ページ大問IVnext years	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
61	147	上段左	port	生徒にとって理解し難い表現である。 (availableの接尾辞として理解し難い。)	3-(3)	
62	149	脚注 1行	freelyの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)	
63	154	6	constructive colors	英語の現代慣用によっていない。 (4行red is an expansive colorに照らして, constructive)	固有 2-(1)	
64	164	下囲み 1行	協調	不正確である。 (169ページGrammar「強調構文」に照らして、不正 確)	3-(1)	
65	171	Gra mma	4行 (人にとって) ~することは (形 容詞) だ」という意味を表します。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「省略」の説明として理解し難い。)	3-(3)	
66	179	19	The must be felt	誤りである。 (The)	3-(1)	
67	180	脚注 1行	staircaseの発音表記	表記が不統一である。 (36ページ側注10行fair-tradeの第1音節の母音表記 と不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-206		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
68	182	脚注 1行	eternalの発音表記	表記が不統一である。 (179ページ脚注1行circumstanceの第1音節の発音表記と不統一)	3-(4)	
69	183	脚注 1行	nowhereの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)	
70	184	脚注 2行	Holidayの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
71	185	脚注 2行	Johnの発音表記	表記が不統一である。 (脚注3行Joplinの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
72	190	最下行	made Mr. Suzuki got so angry	誤りである。 (got)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	2	17	What are Slaves? 他：68ページ タイトルの同表現	表記が不統一である。 (9行目のBlack Is Beautifulに照らして、語頭の表記が不統一)	3-(4)	
3	3	下段 2行	副作用 他：118ページ タイトル, 27行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
4	5	24	Preparing evidences 他：87ページ下段4行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
5	5	27	armature 他：103ページ下段4行の同表現	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
6	5	30	Prepare defenses	表記が不統一である。 (119ページ下段4行Preparing defensesに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
7	6		Tips for Communication (全体) 他：22, 70, 134ページのTips for Communication (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
8	9	8	one such myth was the barnacle goose	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	9	脚注 4行	detailedの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
10	25	側注 4行	Abrahamの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	27	3	with the Wind .	誤植である。 (ピリオドの前の不要なスペース)	3-(2)	
12	27	7	including bedroom 他：67ページ22行in home economics class, 185ページ下段10行find time and energy	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
13	28	側注 2行	Lutherの発音表記 他：88ページ側注2行Ardernの発音表 記	不正確である。 (子音表記)	3-(1)	
14	29	8	1967	誤りである。	3-(1)	
15	35	5	when all my friends	表記が不統一である。 (3行whenの下線に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
16	38	下囲み 7行	requires	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
17	44	脚注 3行	jean	相互に矛盾している。 (11行jeansとの対応)	3-(1)	
18	47	脚注 9行	mean 他：147ページ18行give, 186ページ中 段5行agree	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
19	48	大問 4a	cafeul	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
20	53	11	improve fashion clothes	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	54	17	if it isn't so expensive	英語の現代慣用によっていない。 (時制)	固有 2-(1)	
22	59	脚注 1行	occasionallyの発音表記	不正確である。 (第4音節の母音表記)	3-(1)	
23	63	脚注 1行	unworthyの発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)	
24	65	大問3 8行	thase	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
25	66	4	目的語 他：189ページ19行の同表現	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)	
26	66	6	what is known	表記が不統一である。 (5行Whatに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
27	67	18	funny enough 他：21行Funny enough	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
28	68	脚注 1行	wherebyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
29	69	脚注 1行	convictの発音表記 他：105ページ脚注2行coordinate, 107ページ脚注2行combatの発音表記	不正確である。 (本文に照らして、発音表記が不正確)	3-(1)	
30	73	1	Transportation too gives 他：76ページ16行stores too often, 137ページ3行how during the early 1930s, 162ページ5行such as plates and brooms that, 186ページ中段5行	英語の現代慣用によっていない。 (コンマがない。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			She too thinks			
31	74	脚注 2行	more than 60 percent in this company	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
32	78	図	DRIVER LICENSE (2箇所)	表記が不統一である。 (5行driver's licenseに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
33	78	脚注 3行	is supposed to	表記が不統一である。 (77ページ脚注2行に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
34	78	脚注 4行	drink that medicine	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
35	81	大問2	advantages and disadvantages of 他：163ページ大問2，大問3の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
36	82	20	go a post office 他：191ページ18行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
37	86	下段 2行	fer	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
38	88	脚注 1行	Polynesianの発音表記 他：脚注1行Maori，脚注2行New Zealanderの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
39	89	6	two major types farming	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	89	キャプション	ニュージーランドの首都オークランド	誤りである。	3-(1)	
41	95	写真	写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (本文との対応)	3-(3)	
42	95	脚注 2行	is sold 他：194ページ14行の同表現	誤りである。 (主語に対応するbe動詞)	3-(1)	
43	98	19	p. 156	誤りである。	3-(1)	
44	104	2	so many interests that they enjoy	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
45	105	16	promoters 他：脚注2行promotor	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
46	106	12 - 13	as "A. D." and "B. C." are used	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
47	107	脚注 1行	one-on-oneの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
48	109	脚注 3行	a class	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
49	114	4	excited 他：191ページ30行の同表現	表記が不統一である。 (107ページ2行existedに照らして、表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
50	115	大問3 8行	was painted	英語の現代慣用によっていない。 (主語に対応するbe動詞)	固有 2-(1)	
51	118		Writing Skills (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
52	120	側注 6行	ソビエト社会主義連邦	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
53	121	側注 1行	dueの発音表記	表記が不統一である。 (47ページ脚注2行newlyの第1音節の子音表記と不統一)	3-(4)	
54	122	脚注 5行	Q1 What provides robust data protection and how?	表記が不統一である。 (121ページ脚注7行Q2に照らして、当該ページ本文に質問に関わる記述がない。)	3-(4)	
55	123	側注 1行	block-chainの発音表記	表記が不統一である。 (141ページ脚注1行well-knownの発音表記に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
56	123	脚注 1行	falsificationの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)	
57	124	13	cooperation by	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
58	131	大問3 6行	past entrance	不正確である。 (文が完結していない。)	3-(1)	
59	133	3	the digital platforms, such as PC and smartphone	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
60	143	7 - 9	That horror of waste and the thrill for what might unfold if people appreciate the things life offers are evident	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
61	144	1	choosing the right word	生徒にとって理解し難い表現である。 (指示文が理解し難い。)	3-(3)	
62	146	Grammar	G1の3 (全体)	相互に矛盾している。 (G1の説明との対応)	3-(1)	
63	147	4]. is B	誤記である。 (ピリオド)	3-(2)	
64	149	脚注 2行	culminateの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)	
65	151	20	an English-speaking teacher and a Japanese teacher who speaks English	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (an English-speaking teacher)	3-(3)	
66	163	大問4 1行	ping-pong debate	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
67	164	20	Weather permitting	表記が不統一である。 (19行目The audience lookingに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
68	165	大問3 1行	a 8-year-old	誤りである。 (冠詞)	3-(1)	
69	168	25	in other word	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-207		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
70	175	側注 8行	Rajibの発音表記	不正確である。	3-(1)	
71	178	脚注 1行	mitigationの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
72	178	脚注 1行	adaptationの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
73	181	脚注 1行	decarbonizationの発音表記 他：脚注1行declarationの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
74	184	下段 11行	we grow out	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
75	195	18	The smell of the flowers hung in the air.	相互に矛盾している。 (leave ~ hang (in the air) との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-208		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	8	Little Princes	不正確である。 (書籍名)	3-(1)	
2	37	31 - 32	and world classics	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	
3	37	49	, joy	英語の現代慣用によっていない。 (接続詞がない。)	固有 2-(1)	
4	47	写真	Keio Plaza Hotel Tokyo (2箇所)	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
5	57	7 - 13	音の脱落	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (音の脱落について)	3-(3)	
6	57	20	同化が起きているところに	相互に矛盾している。 (2)の英文との対応)	3-(1)	
7	73	中段図	START(Simple Triage And Rapid Treatment)	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
8	91	Exe rci	大問2 (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように表現するのか理解し難い。)	3-(3)	
9	114	8	would have been	英語の現代慣用によっていない。 (been)	固有 2-(1)	
10	132	Exe rci	help of robots	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-208		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	162	脚注 1行	loudspeakerの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
12	171	下写真	En-nichi	表記が不統一である。 (他のキャプションに照らして、語頭の表記が不統一)	3-(4)	
13	173	写真	pepsi	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	178	脚注 2行	regardの発音表記 他：191ページ側注7行 recall	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
15	186	下段	Exercises(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
16	209	脚注 3行	Mosuoの発音表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-209		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	14	側注 7行	New York Cityの発音表記 他：117ページ側注7行substitute, 118ページ脚注2行dune, 172ページ脚注2行tubaの発音表記	表記が不統一である。 (26ページ側注13行neutralの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
3	34	下囲み 右	フレン チョコレート	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (French chocolateの発音について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	54	側注 4行	Karliの発音表記	不正確である。 (語末の長音符)	3-(1)	
5	102	囲み⑦	Call me later.	不正確である。 (丸印との対応)	3-(1)	
6	105	図	Kachru B. (1997)を改変	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
7	162	脚注 1行	Darayyaの発音表記 他：172ページ脚注1行Roccoの発音表記	不正確である。 (子音表記)	3-(1)	
8	170 - 175		Activity Corner 資料集(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
9	174	脚注 3行	Gitanjali Raoの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
10	176	2	MY WAY I	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-210		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	8	側注 4行	Guelaguetzaの発音表記 他：56ページ側注4行Mont-Saint-Michel, 111ページ側注10行Stille Nachtの発音表記	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音表記について理解し難い。)	3-(3)	
6	13	下段	WORD BUILDER (全体) 他：25, 37, 49, 61, 73, 85, 97ページのWORD BUILDER (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。 (関連付けるべき言語活動が設定されていない。)	固有 1-(2)	
7	14	PRACTI	大問1. 2. (全体) 他：26, 38, 50, 62, 74, 86, 98ページの大問1. 2. (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
8	16	脚注 3行	breakdancing 他：110ページ側注11行No Man's Landの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
9	20	側注 4行	clueの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)	
10	23	TALK 7行	Unaginobori, Gobounuki	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (TALK!2行expressions with foodに照らして、例について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-210		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	27	脚注 2行	superstitionの発音表記 他：脚注3行cooperation, 39ページ脚注2行circulation, 脚注4行conclusion, 75ページ脚注1行technicalの発音表記	表記が不統一である。 (12ページ脚注10行regionの語末の母音表記と不統一)	3-(4)	
12	68	側注 22行	reduceの発音表記 他：84ページ側注8行enthusiasmの発音表記	表記が不統一である。 (119ページ側注11行newsletterと子音表記が不統一)	3-(4)	
13	82	上段 右図	KODANSHA COMICS BL	特定の書籍の宣伝になるおそれがある。 (KODANSHA COMICS)	2-(7)	
14	82	SAY IT	kana, yomifuda	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (丸印がなく、読み方について誤解するおそれ)	3-(3)	
15	108	下段	READING TASK (全体) 他：114, 121, 129ページ下段の READING TASK (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように書くのか理解し難い。)	3-(3)	
16	113	17 - 18	we do not forgot	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-211		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	2	8	猫庭」の取り組み	脱字である。 (括弧)	3-(2)	
4	13	大問 1	Purpose	生徒にとって理解し難い表現である。 (凡例がない。)	3-(3)	
5	14	下段	Express Yourself (全体) 他：各UnitのExpress Yourself (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのようにやり取りするのか理解し難い。)	3-(3)	
6	16	側注 11行	Gulab Gulbuddinの発音表記 他：17ページ側注23行Esmatullah, 側注24行Kunar, 83ページ語注2行Wilkinson, 141ページ脚注3行Zorba, 146ページ脚注2行Segretarioの	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
			発音表記			
7	22	Lan gua	大問② 他：38ページ②, 54ページ②, 76ページ②, 92ページ②③, 108ページ②, 130ページ②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
8	23	1	Fill in the blanks with the following words.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (the following words)	3-(3)	
9	24	5	pick up	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-211		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	28	16 - 17	more than 10,000 liters of water are the cotton for just one jacket	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
11	29	4	than any other materials	英語の現代慣用によっていない。 (materials)	固有 2-(1)	
12	29	語注 6行	5 on average 他：159ページ32行の同表現	誤記である。 (行数)	3-(2)	
13	33	7	the natural resources that that	誤りである。 (that)	3-(1)	
14	53	9	12月から2月末まで	相互に矛盾している。 (英文との対応)	3-(1)	
15	83	語注 5行	7 be on strike 他：161ページ32行の同表現	誤記である。 (行数)	3-(2)	
16	83	語注 6行	23 get better 他：161ページ38行の同表現	誤記である。 (行数)	3-(2)	
17	88	11	Catherine 他：側注4行の同表現	表記が不統一である。 (86ページタイトルでは、Katherineと表記)	3-(4)	
18	90	8	took part in a ()	生徒にとって理解し難い表現である。 (想定される答え)	3-(3)	
19	92	7	Tuval	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-211		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	95	下段 2行	例えば2段落目では	誤りである。 (2段落目)	3-(1)	
21	103	14	you set; you	英語の現代慣用によっていない。 (セミコロン)	固有 2-(1)	
22	103	31	I was even more interested whether the tool was helpful	英語の現代慣用によっていない。 (interested)	固有 2-(1)	
23	113	側注 21行	exasperatedの発音表記	不正確である。 (第2強勢がない。)	3-(1)	
24	129	19	とらなかつたら、	誤植である。 (読点)	3-(2)	
25	129	大問 3	b. Sara suggests	誤植である。 (Saraの前の不要なスペース)	3-(2)	
26	135	1 - 2	Crossroads 2 他：139ページ6行の同表現	誤記である。	3-(2)	
27	148	脚注 3行	screech(ed)の発音表記	不正確である。 (語末の子音表記)	3-(1)	
28	152	下囲み	Vocabulary Box (全体) 他：153, 154, 155, 156, 157, 158ペ ージのVocabulary Box (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。 (関連付けるべき言語活動が設定されていない。)	固有 1-(2)	
29	158	下囲み 2行	pioneer	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-211		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	162	13	make path for A	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)	
31	164	19	jump back and forth	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-212		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	5	WRITING	1-10段「簡潔に書く」(10箇所) 他：9, 23, 39, 53, 69, 83, 99, 113, 129, 143ページGoals & ActivitiesにおけるWRITINGの“Writing a few sentences”及び「	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「英語コミュニケーションⅡ」で行う「書くこと」の学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
			簡潔に書こう」/ 21, 35, 51, 65, 81, 95, 111, 125, 141, 155ページCheck Your Progress! 5段の“write a few sentences”			
4	12	側注4行	giraffe(s)の発音表記	不正確である。 (括弧内の子音表記)	3-(1)	
5	26	側注13行	categoriesの発音表記 他：44ページ側注22行moreoverの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
6	28	側注11行	numerousの発音表記	表記が不統一である。 (40ページ側注15行newbornの第1音節の母音表記と不統一)	3-(4)	
7	30	下段	soft drink trends in Japan (past 40 years)のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
8	36	9	I have strong motivation	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
9	36	下段	Let's try! (全体) 他：66, 96ページのLet's try! (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-212		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	44	下段表	経済損失額が書かれた丸（5箇所）	生徒にとって理解し難い表現である。 （丸の大きさについて理解し難い。）	3-(3)	
11	51	上段囲み	子音（唇・のど・歯・舌などで息が妨げられて出る音）の中には，[r]/[l]（right/light）	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （子音の発音について誤解するおそれ）	3-(3)	
12	53	War mup	Magic tape.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	58	側注 17行	tablecloth(s)の発音表記	表記が不統一である。 （側注7行electronの語末の母音表記と不統一）	3-(4)	
14	70	下段図	女性が持っている本のGreat Expectation	相互に矛盾している。 （11行Great Expectationsと相互に矛盾）	3-(1)	
15	73	下段	Grammar（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について，言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
16	88	脚注 1行	Serbiaの発音表記	不正確である。 （強勢表記）	3-(1)	
17	97		Writing Skills 1（全体） 他：156ページSpeaking Skills 2（全体）	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
18	100	6	the only thing that cause communication 他：101ページThe Gist1-2行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 （動詞の形）	固有 2-(1)	
19	114	脚注 1行	Karelの発音表記	不正確である。 （発音表記）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-212		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	116	脚注 1行	PaPeRoの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
21	136	側注 8行	historicallyの発音表記 (側注34行criticallyと母音表記が不統一)	表記が不統一である。 (側注34行criticallyと母音表記が不統一)	3-(4)	
22	144	脚注 1行	Greta Thunbergの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
23	157	Bod y2	Second,	誤植である。 (Secondの前の不要なスペース)	3-(2)	
24	164	脚注 1行	Boggisの発音表記 (脚注2行promisingと母音表記が不統一)	表記が不統一である。 (脚注2行promisingと母音表記が不統一)	3-(4)	
25	190 - 192		English Communication 1で学習した 文法 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-213		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	表見返Ⅲ	19	Moufflon—The Dog of Florence	表記が不統一である。 (サブタイトルの表記)	3-(4)	
4	3	7	SNS 他：10ページ2段目左，96ページタイトル	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	5 - 10	TRY	リテリング活動で内容の定着をはかります。(本書のpp.6-7 で用語や使い方を解説しています。)	相互に矛盾している。 (TRY 6 Retellingの解説がない。)	3-(1)	
6	5	中段右	発展的な活動として本文の要約も行います。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
7	8 - 10	Listen	目標「身近な事柄について」(8箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習指導要領に示す内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について…必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を把握する活動。」について扱っていないと誤解するおそれ)	3-(3)	
8	14	8 - 9	the couple recently together	英語の現代慣用によっていない。 (recently together)	固有 2-(1)	
9	16	26	Do you think of any situations	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	18		Language Function (全体) 他：各LessonにあるLanguage Function (全体)及び142-149ページのWrap Up Grammar (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-213		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	20	グラフ	MEXT Japan, 2020	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
12	43	中段	Discussion (全体)	各国の国民性について、一面的な見解を十分な配慮なく取り上げている。	2-(6)	
13	50	10 - 11	What lovely weather it is today, isn't it!	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	54	9	find the latest world happiness ranking of Japan	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
15	59	8	Where are Ken and Susan now?	生徒にとって理解し難い設問である。 (1行目 Ken and Susan are talking at different places. との対応)	3-(3)	
16	95	グラフ	グラフ (4箇所)	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
17	114	写真	懐中時計の写真	生徒にとって理解し難い写真である。 (想定される答えとの対応)	3-(3)	
18	129	Items	⑮ FM transmitter	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
19	167	左欄 35	Moufflonの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
20	170	右欄 26	Jobsの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-213		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	171	右欄 26	Dunant	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
22	175	脚注	太字はBOOK2履修時までに既習とした語 他：177, 179, 181, 183, 185, 187ページの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (BOOK2履修時)	3-(3)	
23	裏見返 Ⅳ	3	英語は無声子音が連続して発音されることが多いので	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (無声子音だけが連続すると誤解するおそれ)	3-(3)	
24	裏見返 Ⅳ	4 - 5	活発に動く調音器官は…3. 軟口蓋 (のどの奥) 4. 声門の4つです。	不正確である。 (軟口蓋, 声門)	3-(1)	
25	裏見返 Ⅳ	1～3	息を出す (16箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音でも息を出すと誤解するおそれ)	3-(3)	
26	裏見返 Ⅳ	1～2	擦るように (5箇所) 他：裏見返しⅤ左欄 (2箇所)	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)	
27	裏見返 Ⅳ	2④	舌の中ほどを口蓋に近付けて	生徒にとって理解し難い表現である。 (発音の仕方について理解し難い。)	3-(3)	
28	裏見返 Ⅴ	左欄 11-	舌の前の方で上歯茎を軽く押さえ 他：13-14行軽く押さえ	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)	
29	裏見返 Ⅴ	右欄3	あごを下げる 他：4, 6行の同表現, 7, 8, 9, 11, 22, 24, 26, 30, 32行あごを下げて, 20行あごを上げる	不正確である。 (発音の仕方)	3-(1)	
30	裏見返 Ⅴ	右欄 18	声を出した後 他：28行の同表現, 20, 22, 24, 26, 30, 32, 34, 36, 38行発音した後	不正確である。 (重母音の発音の仕方)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-214		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	12	not as crowded	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	7	14	be worry	誤りである。	3-(1)	
3	22	下段	イラスト (2箇所)	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (本文との対応)	3-(3)	
4	23	5	to take them easier	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
5	23	10	people from abroad ? 他：38ページ11行has had an impact , 82ページ10行evidence that shows languages, 159ページ3行, 163ページ 21行to support future	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
6	33	13	only see emperor penguins in an aquarium 他：35ページ27行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (副詞の位置)	固有 2-(1)	
7	43	側注 5行	overheadの発音表記 他：120ページ側注7行undergroundの 発音表記	不正確である。 (本文に照らして、強勢表記が不正確)	3-(1)	
8	45	2	made possibly by their unique cleaning procedures 他：50ページ23行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (possibly)	固有 2-(1)	
9	58	4	The Happy Prince and Other Tales 他：83ページ側注1行, 6行Romeo and Juliet	表記が不統一である。 (83ページ2-3行Romeo and Julietに照らして、表記 が不統一)	3-(4)	
10	63	22	The Selfish Giant	不正確である。 (作品名の表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-214		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	72	側注 8行	onlineの発音表記	不正確である。 (第1音節の発音表記)	3-(1)	
12	78	グラフ	グラフ (2箇所)	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
13	83	側注 7行	「ロミオとジュリエット」	表記が不統一である。 (58ページ4行『幸福な王子, その他』に照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
14	83	側注 12-	おおむね1595年前後	相互に矛盾している。 (3-4行around 1600との対応)	3-(1)	
15	101	21	construction	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
16	102	側注3 行	Nativity Façadeの発音表記	不正確である。 (Façadeの強勢表記)	3-(1)	
17	119	1	1941—1945 他: 1942～ (2箇所), 1944～ (1箇所), 1945～ (4箇所)	誤植である。 (記号)	3-(2)	
18	121	6	meterts 他: 127ページ7行の同表現	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
19	122	側注 4行	shovelの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)	
20	123	3	the US Army 他: 6行, 写真キャプション, 127ペー ジ23, 25行, 128ページ19行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Army)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-214		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	130	12	chance ... 他：14行friends ...	表記が不統一である。 (6行always...に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
22	138	側注 28行	empty	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
23	147	Lis ten	Japanese () flush the () more than ().	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (想定される答えについて誤解するおそれ)	3-(3)	
24	147	下段	Writing& Speaking 他：167ページ2行Look at Chart1, 167ページ3行Look at Chart2	誤植である。 (スペースがない)	3-(2)	
25	151	大問 3C	イラスト	誤植である。 (国旗の一部が切れている。)	3-(2)	
26	157	側注 25行	頭文字も大文字化する	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
27	166	グラフ	Chart 1及びChart 2	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
28	178	側注 19行	accumulatedの発音表記 他：側注24行singularity, 188ページ 脚注2行goodwill, 195ページ脚注2行 uniteの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-215		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	13	下段	イラストのCOMIC 他：51ページイラストの同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	17	上段	Information 3の3コマ目及び4コマ目	誤植である。 (吹き出し右側の文字が切れている。)	3-(2)	
3	26	側注 8行	uniqueの発音表記 他：30ページ側注3行nutritious, 154 ページ側注9行authorityの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
4	37	1	the aspect of	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
5	41	15	, so	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
6	46	側注 14行	overheadの発音表記	不正確である。 (本文に照らして、強勢表記が不正確)	3-(1)	
7	48	側注 11行	reputationの発音表記 他：102ページ側注7行populationの発 音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
8	78	7 - 8	太平洋上には日本の4倍の面積のプラ スチックゴミでできた島があることを 知っていますか？	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
9	83	下段	左イラスト	相互に矛盾している。 (parkとの対応)	3-(1)	
10	85	下段	Speak Out!(全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (発音表記が示されていない。)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-215		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	86	脚注 1行	Nativity Facadeの発音表記	不正確である。 (Facadeの強勢表記)	3-(1)	
12	109	Listen	() often flush () more than () .	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (想定される答えについて誤解するおそれ)	3-(3)	
13	128	12	stay, and	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
14	150	側注 6行	present-dayの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
15	172	3	the US Army 他：173ページ1行, 175ページ15行, 176ページ14行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Army)	3-(3)	
16	178		地図(2箇所)	不正確である。 (塗色が不正確)	3-(1)	
17	196	中上段	TRY IT! 16 他：198ページ中下段TRY IT! 25	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションI」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
18	200 - 207		Useful Expressions(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
19	200	19	LEGO block レゴブロック	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (LEGO)	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-216		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」とカ(イ)	2-(1)	
)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」の両方を学習することが担保されていない。)		
2	21	3	息を勢いよく開放して音を出す 他：180ページ26行息を勢いよく開放して音を出す、 28行息を開放するときに摩擦音を出す	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有声音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	21	12	/g/	誤植である。 (フォント)	3-(2)	
4	56	図	Slide(2箇所) 他：58, 60, 68, 69ページのSlide	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(10)	
5	69	6	「ウ」の発音をするように、唇を丸め、舌先を内側に巻くようにして発音する。	不正確である。 (/r/の発音の説明として不正確)	3-(1)	
6	85	7	a cup of teaの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ofのイギリス英語とアメリカ英語の発音)	3-(3)	
7	85	9	numberの下線部	相互に矛盾している。 (9行指示文との対応)	3-(1)	
8	86	Grammar	イラスト及びQ1(2)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イラスト及び想定される答えにおけるLilyの行動について、誤解するおそれ)	3-(3)	
9	110	24	gender minorities ジェンダーマイノリティ(性的少数者)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語と日本語との対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-216		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	122	側注 9行	persecuteの発音表記 他：126ページ21行Kosovoの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)	
11	174	19	武蔵(現在の東京都・埼玉県周辺の地域) 他：同行 下総(現在の茨城県・千葉県周辺の地域)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (周辺の地域について誤解するおそれ)	3-(3)	
12	180	30	舌を上あごに近づけ、その中間または両側から音を出す。	生徒にとって理解し難い表現である。 (24行/l/ /r/との対応)	3-(3)	
13	181	9 - 10	/a/ /e/ /i/ …と発音するのが原則。	不正確である。 (曖昧母音の説明として不正確)	3-(1)	
14	181	11 - 12	長母音には…母音が重なるもの(重母音)があり	不正確である。 (長母音の説明として不正確)	3-(1)	
15	181	13 - 15	重母音は…のように発音する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
16	181	26	Mother Goose 他：27行Mother Goose：イギリスの伝承童謡集。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (22-25行歌との対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-217		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	表見返 I	13	That's why ～.	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
5	26	Grammar	大問①② 他：27ページ①②③, 48ページ①②, 49ページ①②③, 74ページ①, 75ページ①②, 100ページ①②, 101ページ①②, 126ページ①②, 127ページ①②③	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
6	32	10	other digital device 他：33ページ14-15行other () device	表記が不統一である。 (36ページ9-10行other () devicesに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
7	57	7	Pictogram A means a restaurant	英語の現代慣用によっていない。 (動詞の形)	固有 2-(1)	
8	63	写真 A	トライアスロン専用バイク	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (CEEP0)	2-(7)	
9	66	脚注 3行	マイクロソフト・エクセルのこと	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	106	上段右 写真	自転車	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (ROCKRIDER)	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-217		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	108	側注 1行	demerit(s)の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-218		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	12		Hints for Understanding (全体) 他: 22, 34, 46, 60, 72, 84, 98, 110, 122, 136, 148ページのHints for Understanding (全体) 及び160-161ページのHints for Understanding	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			+Plus (全体)			
3	27	22	最年長の兄弟	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
4	45	T00 LBO	1行 read manga [novel(小説)]	英語の現代慣用によっていない。 ([]内における名詞の形)	固有 2-(1)	
5	51	中段囲 み5行	Top 4 uses of smartphone	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
6	66	脚注 1行	hair salonの発音表記	不正確である。 (salonの第1音節の母音表記)	3-(1)	
7	74	Ste p1	3行 do a deskwork	英語の現代慣用によっていない。 (a deskwork)	固有 2-(1)	
8	78	側注 1行	Melatiの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)	
9	89	囲み右 欄	店員と客のやり取りの日本語訳 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習方法について誤解のおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-218		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	100	4	Need Your Ideas!	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	101	6	with salads	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
12	115	War mUp	A. point card 他：124ページStep 1囲み2行, TOOL BOX1行のpoint cards	英語の現代慣用によっていない。 (point)	固有 2-(1)	
13	116	側注 8行	Aishaの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)	
14	118	下段写 真	自動販売機	特定の営利企業及び商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	123	TOO LBO	flyers, free pocket tissues, loud greetings	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (20行servicesに照らして、serviceの意味について 誤解するおそれ)	3-(3)	
16	162 - 165		TOOL BOX +Plus (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
17	163	右欄 6行	historic ruin	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
18	164	左欄 6行	hangi	生徒にとって理解し難い表現である。 (英語表記でなく理解し難い。)	3-(3)	
19	166	3	COMET English Communication I	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-219		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	本図書に用いられている新語数	図書の中で用いられている英語の新語数は、学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)に示す「700～950語程度の新語」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
6	6	下囲み	キーワードの意味を推測しましょう 他：18, 42ページ	生徒にとって理解し難い指示文である。 (キーワードがすべて既習語)	3-(3)	
7	7	6	had breakfast in hotels	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	9	1	話すこと[やり取り]のアイコン 他：全てのCheck Your Understandingにある同アイコン	生徒が誤解するおそれのあるアイコンである。 (「話すこと[やり取り]」の活動と誤解するおそれ)	3-(3)	
9	13	Grammar	動名詞 他：51ページ進行形の受け身, 69ページ分詞の形容詞的用法, 83ページ「S+V+0+to不定詞」, 87ページ「S+V+0+C(=原形不定詞)」, 101ページ関係代	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			名詞の非制限的用法, 117ページ関係副詞の非制限的用法, 129ページ仮定法過去完了, 141ページ倒置, 143ページ省略, 176ページ現在・過去・未来			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-219		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	16	脚注 1行	cerealの発音表記	表記が不統一である。 (84ページ側注2行virusとの対応)	3-(4)	
11	29	上囲み	usの上の丸	不正確である。	3-(1)	
12	41	1	Grove English Communication 1 他：137ページ”	誤記である。	3-(2)	
13	55	イント ネーシ	1の文末にある矢印	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (下げ調子で読む位置について誤解するおそれ)	3-(3)	
14	64	手紙最 下行	Yours truly, George	誤植である。 (改行されていない。)	3-(2)	
15	67	グラフ	日本の紙の種類別販売量推移	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
16	67	7	on paper on a computer	英語の現代慣用によっていない。 (接続詞がない。)	固有 2-(1)	
17	82	3	SNSs 他：8行SNSs, 脚注2行SNS, 83ページ4 行SNSs, 14行SNSs	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)	
18	82	脚注 2行	a social networking service.	誤記である。 (ピリオド)	3-(2)	
19	89	下囲み (2)	Jspanese	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-219		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	102	12	hearty connections	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	121	1 - 2	…子音で終わる単語が文末で用いられる場合、ほとんど音が聞こえなくなります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (文末のみ音が消えると誤解するおそれ)	3-(3)	
22	128	7	FAO	生徒にとって理解し難い表現である。 (FAOが何か理解し難い。)	3-(3)	
23	146	下囲み 1行	Froth 他：147ページ3行の同表現	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
24	151	8	go the dentist	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	
25	156	脚注 2行	9-10. pay back	誤りである。 (10行pay it backとの対応)	3-(1)	
26	165 - 166		Let's Speak!(全体) 他：p.166 Let's Write!(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
27	174	1	事実(Opinion)	誤りである。 (下段Factとの対応)	3-(1)	
28	176	下段	1 現在・過去・未来(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
29	184	最下行	seemed from here	誤りである。 (Seen from hereとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-220		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	8	1	'GIRLS und PANZER'	表記が不統一である。 (11ページ「Lucky Star」との対応)	3-(4)	
4	12	側注 5行	afterwardsの発音表記	不正確である。 (英音表記である。)	3-(1)	
5	12	グラフ	棒グラフ	不正確である。 (出典表示)	3-(1)	
6	13	sound tips	飲み込むようにして発音しない 他：87ページ、151ページのsound tips	生徒にとって理解し難い表現である。 (下線部との対応)	3-(3)	
7	21	上段	大問1 (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (映画の内容を知っていないと活動ができないおそれ)	3-(3)	
8	21	大問1 囲み	the author make	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
9	43	側注 Q3	why	誤記である。 (文頭の小文字)	3-(1)	
10	62	側注 12行	environmentalの発音表記	不正確である。 (第3音節の発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-220		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	86	側注 3行	beyondの発音表記 他：96ページ側注9行ex-drug addict	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
12	104	13	about distant world	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
13	105	Gra mma	大問② 他：138, 160ページの大問②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
14	107	大問1 ④	LGBTQ person	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (想定される答えと対応していない。)	3-(3)	
15	139	グラフ	キャプションの英語	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
16	139	グラフ	Figure 2	学習上必要な出典、年次が示されていない。	2-(11)	
17	161	中表 4行	in independent country	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
18	176	1	I am never with him without talking about soccer.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	184	11	I can. '''	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
20	186 - 191		分野別 Hot Topics (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-220		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	186 - 191		分野別 Hot Topics (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
22	186	脚注 3行	illiterateの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)	
23	187	タイトル	Daily	英語の現代慣用によっていない。 (扱っている内容との対応)	固有 2-(1)	
24	190	15	Sapeur	表記が不統一である。 (153ページsapeurとの対応)	3-(4)	
25	191	9	Google	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
26	192	1	右側の数字は初出ページを表しています。 他：198ページ1行の同表現	生徒にとって理解し難い表記である。 (初出ページとの対応)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-221		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	2 - 3	表	表	生徒にとって理解し難い表記である。 (黄色のアイコンが表の中に表れておらず、理解し難い。)	3-(3)	
3	15	24	Look at the table above 他：各レッスンのRetellにある同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (tableがどこを指すのか理解し難い。)	3-(3)	
4	20	下囲み	本文の内容を比べよう 他：各レッスンの「学習をふり返ろう！」下の同表現	生徒にとって理解し難い活動である。 (どのようにやり取りして伝え合うのか理解し難い。)	3-(3)	
5	51	1	Focus on Five Skill Areasに付されたアイコン 他：67, 83, 99, 137ページのアイコン	相互に矛盾している。 (3ページ上囲み及び当該ページ内容との対応)	3-(1)	
6	54	脚注 3行	suggestの発音表記 他：144ページ側注11行altitudeの発音表記	不正確である。 (英音表記)	3-(1)	
7	57	下段1 -5行	暴風雨は、…北中米に近い太平洋東部ではハリケーン(Hurricane)と呼称されます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (太平洋東部でのみハリケーンと呼ばれると誤解するおそれ)	3-(3)	
8	59	下段中央 写真	水のいらないシャンプー-FRESSY	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (FRESSY)	2-(7)	
9	131	右下写 真	1983年に試作された電池第一号のレブリカ	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文との対応)	3-(3)	
10	180	図	地図	生徒にとって理解し難い図である。 (塗色が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-222		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	2 - 3	目次	目次	生徒にとって理解し難い表記である。 (緑色のアイコンが表の中に表れておらず、理解し難い。)	3-(3)	
3	17	10 - 11	yで始まる子音の音が変化	生徒にとって理解し難い表現である。 (yは文字であり、音ではない。)	3-(3)	
4	18	25 - 26	本文を聞き比べよう！(全体) 他：各レッスンの「学習をふり返ろう」下の同活動(全体)	生徒にとって理解し難い活動である。 (どのようにやり取りして伝え合うのか理解し難い。)	3-(3)	
5	25	21	Her bike is old.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (強調する文脈について誤解するおそれ)	3-(3)	
6	34	4	1987-1991 他：6行2007-2011, 35ページ10行 1997-2001, 11行2007-2011	誤記である。 (ハイフン)	3-(2)	
7	45	2	Focus on Five Skill Areasに付されたアイコン 他：59, 151, 167ページのアイコン	相互に矛盾している。 (表見返し3ページ上囲み及び当該ページ内容との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-223		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに詳しく話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	10	側注 23行	revisitの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
4	18	Exe rci	大問①② 他：30ページ①②, 42ページ①②, 54ページ①, 76ページ①②, 100ページ①②, 112ページ①②, 136ページ②, 148ページ①②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
5	31	囲みB 2行	thin sliced 他：3行thick sliced	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	68	側注 13行	environmentalistの発音表記	不正確である。 (第3音節の発音表記)	3-(1)	
7	107	5	at	誤植である。 (フォント)	3-(2)	
8	113	脚注 4行	alterの発音表記 他：125ページ側注3行aweの発音表記	表記が不統一である。 (22ページ側注13行sauceの母音表記と不統一)	3-(4)	
9	128	13	certain set answers	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	174	右欄 9行	日本の大工	相互に矛盾している。 (英語との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-223		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーションII	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	174	左欄 32行	deep fry the shrimp	英語の現代慣用によっていない。 (deep fry)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-224		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	15	1	FYI 他：各CHAPTERのFYI	生徒にとって理解し難い表現である。 (凡例がなく、理解し難い。)	3-(3)	
4	20	カレンダー	カレンダーのSan, Man, 31	誤りである。	3-(1)	
5	20	大問1・2	TASK(全体) 他：34ページ大問2, 54ページ大問1, 70ページ大問2, 86ページ大問1・2, 148ページ大問2, 186ページ大問1のTASK(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
6	22	10	Post-it 他：23ページ側注9行, 35ページ中段, 204ページ中欄28行の同表現	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (Post-it)	2-(7)	
7	26	写真	フリクションライト	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	42	脚注1行	Get one example.	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有2-(1)	
9	43	図	公益財団法人塩事業センター「塩百科」『塩と人間の体一体内の塩』をもとに作成 他：45ページグラフ左巻健男「水の常識ウソホント77」平凡社	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
10	45	グラフ	グラフ 他：104, 105, 108, 109, 113ページのFigure	生徒にとって理解し難いグラフである。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-224		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	47	左写真 キャブ	an attitude of 3,200m	誤りである。 (attitude)	3-(1)	
12	76	図	Conversation	表記が不統一である。 (7行では、conservationと表記)	3-(4)	
13	79	2	and smell	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	93	Pre -Re	大問1(2)flowersの下線部 他：同行(6)emptyの下線部	不正確である。 (指示文“consonant clusters”との対応)	3-(1)	
15	94	側注 1行	Junの発音表記 他：163ページ脚注1行Tharwat, 177ページ側注17行telepathyの発音表 記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
16	106	グラフ	Figure 他：107ページのFigure	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
17	113	図	Figure	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
18	114	大問2 1行	“with+noun+adjective[adverb, prepositional phrase]”	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (例文との対応)	3-(3)	
19	195 - 201		Expressions for Writing, Discussion, and Debate(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
20	裏見返	右上囲 み	A friend is one that…to grow. William Shakespeare	信頼性のある適切なものが選ばれていない。	2-(9)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-225		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	第2欄 6段	The soundの発音表記 他：63ページ31行，51行，59行の発音 表記	不正確である。	3-(1)	
2	3	第2欄 10段	The glottal stopの発音表記	生徒にとって理解し難い表記である。	3-(3)	
3	4	下囲み	See GRAMMAR REFERENCE Workbook page 110 他：各UnitのGRAMMAR GUIDEの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)	
4	15	48	How / you / usually feel / Friday afternoon?	英語の現代慣用によっていない。 (Friday afternoon)	固有 2-(1)	
5	15	58 - 68	上付き数字	誤記である。	3-(2)	
6	15	85	page 16 他：114ページ44行page 16, 123ペー ジ28行page 99, 124ページ38行page 20	誤記である。	3-(2)	
7	17	1 - 39	Reading本文（全体）	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
8	24	3	migate	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
9	25	4	Without it the sentence doesn't	相互に矛盾している。 (3行defining relative clausesとの対応)	3-(1)	
10	26	3 - 4	visit outside Italy	生徒にとって理解し難い表現である。 (outside Italy)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-225		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	32	31	watching TV has become an individual activity	誤記である。 (ピリオドがない。)	3-(2)	
12	35	49	a few years later	生徒にとって理解し難い表現である。 (47-54行との対応)	3-(3)	
13	41	27 - 28	Do you have to have a perfect body to do sport? Yes, you do. No, you don't.	生徒にとって理解し難い表現である。 (質問への応答)	3-(3)	
14	44	33 - 34	with seven players in each team	不正確である。 (seven players)	3-(1)	
15	44	下囲み 9行	16.99	脱字である。 (通貨の記号)	3-(2)	
16	45	11	Post-it 他：15行の同表現	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
17	50	34	Amazon	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
18	53	33	anyone - they strike 他：42行anti-terrorism - this means, 75ページ26-27行advertisers - if, 23行products - but, 64行differences - we don't, 123ページ2	誤植である。 (ダッシュ)	3-(2)	
			行friend - intelligent, 129ページ7 行the bus - every cloud, 140ページ 27行teenagers - they make a noise			
19	54	左上	大問19 (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (映画の内容を知っていないと活動ができないおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-225		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	54	8	They are a band of pirates.	相互に矛盾している。 (当該文に対応する写真と相互に矛盾)	3-(1)	
21	60	31	because (of)	相互に矛盾している。 (同行This clauseとの対応)	3-(1)	
22	63	50 - 51	the soft sound 他：51-52行the hard sound	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
23	68	13	if I my head hurt	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
24	74	左下写真	Sunday Times bestselling author of The Body Bible	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
25	76	27	the plant operator	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
26	81	41	two other vowels	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
27	91	13	an iPad	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
28	94	27	Google Chrome	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
29	94	下写真	Sylvester Stalloneに関するfake news	健全な情操の育成について必要な配慮を欠いている。	1-(5)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-225		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
30	95	79	Tell you partner three things	誤りである。 (you)	3-(1)	
31	96 - 97	1 - 43	Reading本文 (全体)	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
32	99	右欄 (全体)	SOUNDS ENGLISH (全体)	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	
33	100	21	Google	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
34	100	66	Xbox	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
35	102	11	his first trip nearly a million years	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
36	107	グラフ	グラフ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
37	109	19	without homes, or jobs or clean water or hope	英語の現代慣用によっていない。 (or jobs or clean water)	固有 2-(1)	
38	112	4	and kilometers flown in planes	相互に矛盾している。 (同ページFigure 1と相互に矛盾)	3-(1)	
39	112	図	Figure 1 (全体)	相互に矛盾している。 (数値との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-225		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅡ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
40	113	11	these cause the famous smog	生徒にとって理解し難い表現である。 (famous smog)	3-(3)	
41	115	左囲み	Glossary	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (読み方について誤解するおそれ)	3-(3)	
42	116	35 - 36	Use the Steps to writing box 他：118, 119, 120, 121ページのTASK の同表現	表記が不統一である。 (38行Steps to followに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
43	125	10	through	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
44	134 - 138		GRAMMAR GUIDE (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-226		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	21		Model(全体) 他：92ページ右下日本語訳例	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (内容について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	22 - 23		Make Your Own(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	29	13	old Japanese items	生徒にとって理解し難い表現である。 (itemsが何を指すのか理解し難い。)	3-(3)	
4	40	右下例 1-2	It's very famous sushi restaurant 他：55ページイラストbecome president	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
5	44	中段B 2行	we could do ... a long trip.	誤植である。 (フォント)	3-(2)	
6	50	大問1 3行	commincation	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
7	75	14	Nature sites	英語の現代慣用によっていない。 (Nature)	固有 2-(1)	
8	91	9 - 10	日本語訳例を読みながら、マーカー箇所を英語で表現しよう。 他：92-96ページのマーカー箇所	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習方法について誤解するおそれ)	3-(3)	
9	104	上段 12行	斜体のadzuki	生徒が誤解するおそれのある表記である。 (斜体による誤解のおそれ)	3-(3)	
10	105	下段 1行	How are you doing?	相互に矛盾している。 (「手伝いを申し出る」との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-227		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに詳しく伝えるスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)	
				」)		
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	3	1	Skill Up 他：26, 42, 56ページの同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	5	上囲み 4行	so often	相互に矛盾している。 (2, 3行のon weekdays and on weekendsとの対応)	3-(1)	
6	11	グラフ	高齢者人口の推移	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
7	13	上囲み 1-2	many shooting stars are appearing	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	14	上囲み 6行	I'm going to the gym from now. 他：34ページ下囲み1行for one size larger, 49ページ左欄中段the ()-eyed	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
9	17	上囲み 2行	SNS 他：19ページ上囲み2行, PERFORM1, 2行, 67ページ5行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-227		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
10	19	上囲み 1行	いるの？	相互に矛盾している。 (英文との対応)	3-(1)
11	20	STE P1	comic writer 他：21ページの同表現（3箇所）	相互に矛盾している。 (20, 21ページ文脈との対応)	3-(1)
12	23	PER FOR	Yes, I have.	英語の現代慣用によっていない。 (1行目との対応)	固有 2-(1)
13	25	PER FOR	You belong to the soccer team	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
14	27	1	my bottle 他：3行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
15	31	上囲み 7行	for environment 他：65ページ下段右5行food stall	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
16	37	上囲み 1行	Thank you for lending this book	英語の現代慣用によっていない。 (lendの目的語)	固有 2-(1)
17	40	Tip s	時間を計る	相互に矛盾している。 (想定される解答との対応)	3-(1)
18	42	囲みB ody	③It's one and a half times as big as Japan.	相互に矛盾している。 (climateとの対応)	3-(1)
19	46	F2	in the typhoon. 他：72ページLesson 15 F2の同表現, 53ページPERFORM3行のnews on a lady	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-227		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	50	F1②	a boy 他：63ページ上囲み4行the pork	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
21	53	上囲み 6行	now	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	59	大問1 の3	the way (how / why)	誤りである。 (解答できない。)	3-(1)	
23	61	上囲み 1行	many ways	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	
24	65	STE P3ポ	③の写真	相互に矛盾している。 (Afternoon teaとの対応)	3-(1)	
25	75	14	go to the	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
26	77	4	I would go to Egypt about 4,500 years ago.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 103-228		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。)	2-(1)	
2	2	Lesson	SNS 他：20ページ上段タイトル, 21ページ Model Dialog9行, Basic Activity3, 5行, 23ページ下段柱, 24ページStep①1, 2, 4, 5行, 25ページStep③1,	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
			2, 3, 6行, Further Activity2行, 下段柱, 109ページ6行の同表現			
3	2	下段左	Skill Up 他：18, 34, 56, 72, 86, 106ページの同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	7	SoundC	2行 強勢母音 他：3行語中…に破裂音がくる	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (破裂音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	11	Further	I belonged to the baseball team. 他：30ページD@a week., 45ページ Model Dialog2行 solar panels on schools, 61ページConnecting Activity4行 my old brother, 106ページStep②右 make people be addicted	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	13	ModelD	12行 I hope the sky I'll be clear.	誤りである。 (I'll)	3-(1)	
7	13	SoundC	2行 母音には…[i]のように 他：29ページSound Corner4. eitherの英音の発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (母音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
8	13	SoundC	2行 母音の長さに注意しながら	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (母音の発音の仕方について誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-228		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	15	Con nec	Summer Vacation	表記が不統一である。 (64ページ3-4行the winter vacationとの対応)	3-(4)	
10	21	Sou ndC	1行 単語の発音 他：2行英単語の発音	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (強形と弱形について誤解するおそれ)	3-(3)	
11	26	6 - 7	I'm going to the gym from now. 他：42ページ下段囲み3行for one size larger, 46ページ⑩⑪At least you must have done your math homework., 65ページ⑤the ()-eyed	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
12	29	Sou ndC	5行 3. when, 4. eitherの例	相互に矛盾している。 (1行「アメリカ英語とイギリス英語の違い」との対応)	3-(1)	
13	45	Sou ndC	合成語の発音	生徒にとって理解し難い表現である。 (合成語)	3-(3)	
14	47	大問① 2.	at (cheap) hotel 他：105ページSTEP③左欄13行In 19th century	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
15	47	大問③ 3.	コロナウイルス	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
16	53	Con nec	右の表は、1人当たりの米の消費量を 示した国別リストです。	相互に矛盾している。 (右の表との対応)	3-(1)	
17	81	Sou ndC	3行 I'll miss you. / I mean it. See you later. / Thanks a lot. に付 された丸印	不正確である。 (丸印)	3-(1)	
18	84	STE P①	1行 海外ボランティア	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-228		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	84	Step①	②Need Volunteers 他：④Volunteer WANTED!	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
20	86	Step①	Graph 1, Graph 2	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
21	90	A2行	howの先行詞the wayは省略することも多い。 他：A④(the way) how you solved	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (関係副詞の用法について誤解するおそれ)	3-(3)	
22	95	ModelD	8-9行 many companies, and factories	誤植である。 (コンマ)	3-(2)	
23	103	Con nec	Yui is a clever person.	生徒が誤解するおそれのある例である。	3-(3)	
24	105	STEP③	Afternoon Teaの写真	相互に矛盾している。 (Afternoon Teaとの対応)	3-(1)	
25	119	4 - 5	I would go to Egypt about 4,500 years ago.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-229		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。)	2-(1)	
2	6	Listen	1行 Dear Mayor of Shishmaref 他：15行Sincerely yours	表記が不統一である。 (8ページSample Essayの例文とコンマの付け方が不統一)	3-(4)	
3	6	7	it's possible to me	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
4	6	10 - 11	if it's possible, would you please introduce any family who accommodate me.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	7	上段	OutlineのTASK (全体) 他：15, 23, 31, 39, 47, 55, 63, 71, 79ページの同TASK (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように意見交換するのか理解し難い。)	3-(3)	
6	17	下段	OutputのTASKに付されたアイコン 他：33, 41, 49, 65, 81ページの同アイコン	相互に矛盾している。 (指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
7	39	中段グラフ	食品ロス量のグラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
8	56	Practi	⑤一晩カレーを寝かせておくと、味はさらによくなるでしょう。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
9	68	C②	then	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
10	77	写真	マウス、緑のマーカー	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (ロゴ)	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-229		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	90	下段左	Table 1 (全体) 他：91ページ下段Table 3 (全体)	相互に矛盾している。 (数値との対応)	3-(1)	
12	91	You rTu	①, ②, ③の日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置きかえるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
13	91	下段右	Table 3の9. Philippine	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	105	下段	TASK (全体)	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように書くのか理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-230		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	20	Exp res	^ が付されたpâtissier	相互に矛盾している。 (発音表記との対応)	3-(1)	
3	23	Words	mountain climbingの発音表記 他：29ページvideo game, 37ページWorld Heritage Site, 51ページprojection mapping, 57ページperformance art,	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
			traditonal arts, 65ページcash register, 71ページmental health, 85ページIndian Ocean, 141ページirrigation canalの発音表			
			記			
4	27		Exercise(全体) 他：33, 41, 55, 61, 69, 75, 83, 89, 97, 103, 117, 125, 139, 145ページのExercise(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
5	27	大問2	例のイラスト 他：131ページ2番のイラスト	相互に矛盾している。 (parkとの対応)	3-(1)	
6	43	Words	grandparentsの発音表記	表記が不統一である。 (85ページ最下行variousに照らして、第2音節の母音表記が不統一)	3-(4)	
7	120	大問1	Look at the picture.	相互に矛盾している。 (設問との対応)	3-(1)	
8	121	Words	No Povertyの発音表記	表記が不統一である。 (Words1行povertyに照らして、第1音節の母音表記が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-230		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	150 - 151		Basic Skills 2(全体) 他：156ページBasic Skills Plus(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
10	151	2	Tada!	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-231		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	下段 1行	GariGarikun 他：7ページ14行 ガリガリ君	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	7	12	ルフィー 他：99ページ左欄26行 解禁襟	誤記である。	3-(2)	
3	10	6 - 7	Her hair looks like an onion. 他：16行 外見の特徴	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
4	11	中段右	語尾の	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
5	21	下段	Point! 他：39ページ下段, 57ページ下段, 87 ページ下段, 93ページ下段の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	24	2	だずねる	誤記である。	3-(2)	
7	31	脚注 1-2	トリビア (全体) 他：43ページ脚注1-2行トリビア (全 体)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
8	32	37	6 lunches and 6 dinners	相互に矛盾している。 (ツアーの旅程表との対応)	3-(1)	
9	33	3	excting	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
10	44	2	This classifieds shows 他：45ページ3行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-231		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	44		Classifieds内のsalary (9箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
12	53	11	on solar battery	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
13	53	脚注 1行	I never saw a saw like that saw saws.	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
14	60	下段	アンケート調査	脱字である。 (括弧)	3-(2)	
15	66	上段 写真	APPARTMENT	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
16	94	10	can't buy one 他：95ページ上表の同表現	相互に矛盾している。 (主節との対応)	3-(1)	
17	106	右欄 23行	タン 他：108ページ右欄17行 食べし、22行 リサクル	脱字である。	3-(2)	
18	108	左欄 28行	使う責任	表記が不統一である。 (109ページSDGsのNo. 12に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
19	109	イラスト	Fight! (2箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
20	117		付録4 Emailの書き方 (全体) 他：119ページ付録6 否定文と疑問文 のつくり方 (全体), 120-121ページ 付録7 いろいろな疑問詞 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-231		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
21	119		付録6 否定文と疑問文の作り方(全体) 他: 120-121ページ付録7 いろいろな疑問詞(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-232		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。」)	2-(1)	
2	17	22	推敲(self-monitor)	表記が不統一である。 (118ページ15行では、確認(self-monitor)と表記)	3-(4)	
3	19	中段B 2.	アイスランドの夏の暮らしは簡単です。	生徒にとって理解し難い表現である。 (暮らしは簡単)	3-(3)	
4	30		Improve Your Writing Skill!(全体) 他: 66ページImprove Your Writing Skill!(全体), 90, 118ページImprove Your Speaking Skill!(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
5	30	21 - 26	復文練習(全体) 他: 90ページ33-34行復文音読(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置きかえるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	57	囲み③	Whether...or 他: 囲み④it is true～	相互に矛盾している。 (太字との対応)	3-(1)	
7	65	図	気象庁による観測データとそれらに関連する現象や概念 他: 110ページ表 動物の野生寿命と飼育下寿命(推定)	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
8	80	囲み 12行	by 2018 他: 85ページFigure It Out5行50%, 89ページ下段2行☆ give details	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
9	81	グラフ	B. C. のグラフ 他: 87ページa. b. のグラフ	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(11)	
10	84	Model	11行and indoor swimming pool	誤りである。 (冠詞がない。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-232		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	89	脚注	I agree to that.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
12	96	Ste p2	because, they	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	
13	105	下青囲 み2行	Affirmative side 他：106ページ上青囲み2行Negative side	表記が不統一である。 (107ページ下青囲み6行affirmative sideに照らして、語頭が不統一)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-233		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	左欄	SKILL UP (6箇所) 他：7ページ上段(2箇所), 16, 26, 36, 46, 56, 66ページ上段左の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	5	9	STEP1 他：同行STEP2, 脚注2行STEP3	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
3	8	3	The dream jobs 他：52ページ10行a profit	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
4	9	大問2	worlds	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
5	9	大問2	2. Weの下線	不正確である。 ([There]との対応)	3-(1)	
6	12	10	it	不正確である。	3-(1)	
7	12	17	Some classroom issues 他：22行All of the students' homework	表記が不統一である。 (16行school buildingsに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
8	17	Practi	大問2 他：27ページ大問1, 57ページ大問1, 66ページ大問1, 67ページ大問3	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)	
9	18	13	The Tigers and the Hawks are playing next week.	相互に矛盾している。 (11行「現在を表す」との対応)	3-(1)	
10	19	下段表 5行	Last year rank	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-233		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	22		Example Bank D 他：48ページExample Bank A	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の（１）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
12	25	3	What are advantages and disadvantages	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	27	20	, 時制の一致	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
14	28	13	They live in a heavily polluted area.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
15	33	23	～ is a country (2箇所) 他：同行about ～ is	誤植である。 (記号)	3-(2)	
16	36	下段右 写真	岩波文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
17	37	6	I turned the lights on.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
18	51		Logic Focus (全体)	相互に矛盾している。 (5ページ凡例及び当該ページ内容との対応)	3-(1)	
19	54	上段左	Figure 1 他；55ページ下段右Figure 1	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)	
20	59	大問3	グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-233		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	62	10	little interest in neither the most expensive nor the cheapest option	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	63	8	so we shouldn't change	表記が不統一である。 (12行, so we should respondに照らして, コンマの付け方が不統一)	3-(4)	
23	63	下段右 枠	medium, small	表記が不統一である。 (Largeに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
24	66	6	Ms. Evans 他: 16行, 18行Mr. Taylor	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
25	68	中段3 行	interviewers	相互に矛盾している。 (5行Interviewerとの対応)	3-(1)	
26	70	上段	「書く」活動のアイコン	相互に矛盾している。 (3ページ下段3行Skillsとの対応)	3-(1)	
27	75	5	Address 他: 15行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
28	75	10	electronics devices	表記が不統一である。 (19-20行electronic devicesに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
29	76	3	get interested in	英語の現代慣用によっていない。 (get)	固有 2-(1)	
30	82	23	とき、 他: 84ページ28行 ことは、85ページ 17行 ながら、86ページ18行 では、87 ページ15行 ほど、	誤植である。 (読点)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-233		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	90	左欄 29行	日本代表 他：98ページ左欄26行「油を使った」	相互に矛盾している。 (英語との対応)	3-(1)	
32	92	左欄 20行	eco-bag	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
33	95	8	性的志向	誤記である。 (漢字)	3-(2)	
34	108 - 109		プレゼンテーションの表現と評価シート (全体) 他：110-111ページ ディベートの注意 点と判定シート・役立つ表現 (全体) ， 112ページ ディスカッションの表現 と評価表 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-234		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	左欄	SKILL UP (6箇所) 他：7ページ上段(2箇所), 16, 26, 36, 46, 56, 66ページ上段左の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
2	5	9	STEP1 他：同行STEP2	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
3	8	3	The dream jobs 他：33ページ23-24行a Japan's World Heritage Site, 52ページ10行a profit, 54ページ15行a main idea	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
4	11	13	Therefore, 他：27ページ20行「時制の一致」, 87ページ22行「2. 誰も」	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
5	12	18	Some classroom problems 他：22行Some students' homework	表記が不統一である。 (17行school buildingsに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
6	13	21	I also like dancing	英語の現代慣用によっていない。 (also)	固有 2-(1)	
7	17	Practi	大問2	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について, 言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
8	18	14	The Tigers and the Hawks are playing next week.	相互に矛盾している。 (12行「現在を表す」との対応)	3-(1)	
9	19	下段表 5行	Last year rank	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	24	1	access to social media	誤りである。 (前置詞)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-234		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	28	13	They live in a polluted area.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
12	29	大問3	左グラフ	生徒にとって理解し難いグラフである。 (%)	3-(3)	
13	33	21	～ is a country (2箇所) 他：同行about ～ is	誤植である。 (記号)	3-(2)	
14	36	下段右 写真	岩波文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
15	37	6	I turned the lights on.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
16	43	上段	発表を聞き要点を理解し	表記が不統一である。 (3ページ19行「発表を聞き、要点を理解し」に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
17	44	13	two style	誤りである。 (名詞の形)	3-(1)	
18	55	11	from and concerns about	表記が不統一である。 (15行from, and concerns aboutに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
19	55	32	in future 他：64ページ1行Chocolate business	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
20	59	大問3	グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-234		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
21	61	20	shows	誤りである。 (動詞の形)	3-(1)	
22	62	10 - 11	little interest in neither the most expensive nor the cheapest option	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
23	63	9	so we shouldn't change	表記が不統一である。 (12行, so we should respondに照らして, コンマの付け方が不統一)	3-(4)	
24	63	下段 右枠	medium, small	表記が不統一である。 (Largeに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
25	64	1	grows large	英語の現代慣用によっていない。 (副詞の形)	固有 2-(1)	
26	66	6	Ms. Evans 他: 16行, 18行Mr. Taylor	誤植である。 (スペースがない。)	3-(2)	
27	68	6	interviewers	相互に矛盾している。 (5行Interviewerとの対応)	3-(1)	
28	70	上段	「書く」活動のアイコン	相互に矛盾している。 (3ページ下段3行Skillsとの対応)	3-(1)	
29	70	1	eigh-year-old	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
30	75	5	Address 他: 15行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-234		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
31	75	10	electronics devices	表記が不統一である。 (19-20行electronic devicesに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
32	76	3	get interested in	英語の現代慣用によっていない。 (get)	固有 2-(1)	
33	80	3	背景には、 他：4行 将来のために、9行 長い間、 19行 燃やし、81ページ3行 第二言語 であり、14行 地域では、16行 受け入 れ、19行 高いと、82ページ18行 話し	誤植である。 (読点)	3-(2)	
			ていたとき、85ページ15行 使いなが ら、87ページ5行 昨日、12行 最近、			
34	80	15	さらに、投稿する前に	表記が不統一である。 (22ページ右欄7行「さらに、コメントを投稿する前 に」に照らして、表記が不統一)	3-(4)	
35	81	9	何をするでしょう。	表記が不統一である。 (48ページ右欄2行「何をするでしょうか？」に照ら して、表記が不統一)	3-(4)	
36	90	左欄 29行	日本代表 他：98ページ左欄32行「油を使った」	相互に矛盾している。 (英語との対応)	3-(1)	
37	91	5	対象的に 他：95ページ7行「性的志向」	誤記である。 (漢字)	3-(2)	
38	92	左欄 6行	vehicle exhaust gas	表記が不統一である。 (31ページ7行vehicle exhaust fumesに照らして、 表記が不統一)	3-(4)	
39	92	左欄 14行	eco-bag	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-234		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
40	107		英文の書き方(全体) 他:108-109ページ プレゼンテーションの表現と評価シート(全体), 110-111ページ ディベートの注意点と判定シート・役立つ表現(全体), 112	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
			ページ ディスカッションの表現と評価表(全体)		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-235		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	7	3	Part 1では…基礎表現を学習し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅱ」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	11	24	pp.102-105 他：17, 23, 29, 35, 61, 67ページにある同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)	
3	11	25	give a presentation 他：17, 23, 29, 35, 61, 67ページにある同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (活動との対応)	3-(3)	
4	28	19	2語以上になるときは、名詞のあとに置く 他：113ページ8行2語以上になる場合、名詞のすぐあとに	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-236		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	5	3	Part 1では…基礎表現を学習し	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅱ」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	7	写真 2	自動販売機の飲料水	特定の商品の宣伝になるおそれがある。 (午後の紅茶, 純水ぶどう, 生茶)	2-(7)	
4	9	18	pp.108-111 他: 15, 21, 27, 33, 39, 45, 51, 89, 95ページの同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (参照ページとして理解し難い。)	3-(3)	
5	9	19	Make a presentation. 他: 15, 21, 27, 33, 39, 45, 51, 89, 95ページの同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (活動との対応)	3-(3)	
6	32	20 - 21	2語以上になるときは名詞のあとに置き 他: 118ページ18行1語の場合は, 名詞の前	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
7	102	14	at school classrooms 他: 103ページ4-5行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-237		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	19	…すぎて～でない	脱字である。	3-(2)	
2	3	16	Tips for Express Your Opinion 他：24行, 33行, 4ページ7行, 68ページ1行, 78ページ1行, 90ページ1行, 100ページ1行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (動詞の形)	3-(3)	
3	4	22	Brushing Up 他：118ページ1行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	10	12	Read Aloudに付されたアイコン 他：12, 14, 16, 24, 26, 28, 30, 36, 38, 40, 42, 48, 50, 52, 54ページRead Aloudに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (11ページ25行アイコンに照らして, 指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
5	18	8	「語尾の子音や[r]+語頭の母音」の連結 他：10-11行 語尾の[r]に母音で始まる語が続くと, [r]の音が現れて次の語の語頭の母音とくっついて発音され	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
			ることがよくあります。			
6	18	19	ラ行の音に近い発音の発音表記	生徒にとって理解し難い表記である。 (発音表記)	3-(3)	
7	18	26	some money 他：同行good bye	相互に矛盾している。 (23行「語尾の子音の脱落」との対応)	3-(1)	
8	19	7	I can't stop sneezing. の例 他：8行He was accompanied by Ted. の例	相互に矛盾している。 (5-6行「語頭の弱い母音や子音は聞き取りづらく, アクセントのある部分から単語が始まるように聞こえることもあります。」との対応)	3-(1)	
9	19	31	DJ	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-237		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	40	下段	イラスト (2)	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
11	46	10	Football (2箇所) 他: 15行の同表現	表記が不統一である。 (56ページ15行soccerに照らして, 表記が不統一)	3-(4)	
12	52	4 - 5	But remember.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	60		和製英語 (全体) 他: 82-83ページColumn (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	100	12	How have you tried it?	相互に矛盾している。 (13行Yes, once.との対応)	3-(1)	
15	102	下段図	Kita Park	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-238		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。」)	2-(1)	
2	5	中段	Essay Writing :Writing 他：下段Creative Writing :Enjoying	表記が不統一である。 (5ページ上段Debate: Arguingとコロンの表記が不統一)	3-(4)	
3	7	大問 2	3行 sudoku 他：8ページModel 5行sudoku, Sudoku, 側注2行sudoku, 側注3行 数独, 101ページ3行sudoku, 数独, 106ページ左欄7, 8行数独 (2箇所)	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	12	Sounds	one of my friendsに付された丸印 他：96ページ中段右Becky is.に付された丸印	不正確である。 (丸印)	3-(1)	
5	16	Sounds	Have you ever imagined boys in our school?に付された線	不正確である。 (線)	3-(1)	
6	19 - 21		For a Better Speech (全体) 他：37-39ページFor a Better Presentation (全体), 55-56ページ For Effective Discussion (全体), 87-88ページParagraph Writing (全体	生徒にとって理解し難い教材である。 (PART内での活用方法について理解し難い。)	3-(3)	
)			
7	22	3	ストレスは常に母音のところに来ます。 。	不正確である。 (母音のところ)	3-(1)	
8	22	7段	Wonderful!の見出しの丸印	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)	
9	45	Sounds	cannotの太字	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-238		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	73	2	ひとつの音 他：上段枠内の同表現	不正確である。	3-(1)	
11	76	下段囲み右	Zoltanの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
12	89	上段枠	five → fifthの例 他：中段枠tempuraの例	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
13	89	下段枠	station ← -s	不正確である。 (矢印の向き)	3-(1)	
14	96	上段表	on	相互に矛盾している。 (「主な〈弱く、あいまいになる音〉を含む語」との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-239		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全体	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
2	表見返	下段	発展	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	
3	10	1 - 2	English Logic and Expression Iの教科書では…(文法事項)を学んできました。 他：12ページ36-38行文法学習の最終目標は…この力を鍛えていきましょう	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「論理・表現Ⅰ」で行う学習について誤解するおそれ)	3-(3)	
			。			
4	12	図	指定と説明の図 他：50ページの同様の図	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)	
5	14	8	(a)～(c) 他：各レッスンのListen Againの同表現及び20ページ5行、39ページ3行、67ページ2行、76ページ6行、95ページ2行、104ページ4行の①～⑥、48ページ	誤記である。 (記号)	3-(2)	
			5行、132ページ5行の①～⑤、123ページ2行の②～⑤			
6	16	Model	it gave him	英語の現代慣用によっていない。 (it)	固有 2-(1)	
7	20	Model	評価 A2 他：各ユニットにあるModel Paragraph, Model Article, Model Request, Model Personal Statementの評価記号	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
8	23	大問4	Complete the sentences based on the Japanese ones. (日本語をもとに文を完成させましょう。) 他：135ページ大問3及び残り全Unit Grammar in Context大問4にある	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置きかえるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-239		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			Complete the sentences based on the Japanese ones.			
9	32	10	これから動詞 (2箇所) 他：14行リアリティ動詞 (2箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
10	34	下段B	Jumpiness between the sentences 他：62, 90, 118ページの同表現	英語の現代慣用によっていない。 (Jumpiness)	固有 2-(1)	
11	70	6	working for a dam	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
12	71	上段右 下囲み	receive blessing	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
13	100	Model	Education is important to reduce poverty.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
14	156 - 164		スキルページ (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
15	162	右上図	DKK (2箇所) 他：163ページ中段本文7行, 8行の同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (DKKが何か理解し難い。)	3-(3)	
16	171	1	about	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
17	折込		ライティング・スピーキング評価ルーブリック	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-239		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準
	ページ	行			
18	折込	〈談話展開〉	OREO	生徒にとって理解し難い表現である。 (OREOが何か理解し難い。)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-240		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。)	2-(1)	
3	6	中段	2nd Step (全体) 他：7, 10ページの2nd Step (全体)	生徒が誤解するおそれのある問いである。 (活動内容について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	6	下段	4th Step (全体) 他：7, 8, 9, 10, 11, 12, 13ページの4th Step (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、用語や用法の指導に偏ることがないように適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)	
5	8	吹き出し1行	680¥	誤記である。	3-(2)	
6	8	11	日本語で 他：9ページ11行, 11ページ7行, 12ページ9, 10行, 13ページ6行	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
7	9	17	my favorite type of food is Italian.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	15	Forms	会話中で…よう! 他：19, 23, 27, 35, 39, 43, 47, 55, 61, 67, 73, 83, 89, 95ページの同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習方法について誤解するおそれ)	3-(3)	
9	20	16	Ishiguro Kazuo	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-240		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	21		Task 2 (全体) 他：25, 37, 41, 57, 85, 91ページのTask 2 (全体) 及び91ページのTask 3 (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
11	29	Task 3	Othello 他：左写真キャプションの同表現	特定の商品の宣伝になるおそれがある。(Othello)	2-(7)	
12	31		1st Zone Review (全体) 他：51ページ2nd Zone Review (全体), 78-79ページ3rd Zone Review (全体), 99ページ4th Zone Review (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
13	31	33	I Am a Cat 他：111ページ17行“Frozen”	不正確である。(タイトルの表記)	3-(1)	
14	36	Task 1	(1)turn off the kitchen stove及び図 他：38ページ中段Words and Phrases2 put out the fire	生徒が誤解するおそれのある表現及び図である。(地震発生時にすべき行動について誤解するおそれ)	3-(3)	
15	36	脚注2行	solar-powered 太陽電池式の	表記が不統一である。(脚注3行necessary[形]に照らして、品詞の付け方が不統一)	3-(4)	
16	58	Share	Shareに付されたアイコン 他：64ページShareに付されたアイコン	相互に矛盾している。(指示文に示された活動とアイコンとの対応)	3-(1)	
17	60	中段	Structure of the global Multidimensional Poverty Index	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)	
18	62	脚注3行	vaccinated	相互に矛盾している。(品詞との対応)	3-(1)	
19	66	7	100 000	誤植である。(不要なスペース)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-240		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	75	5	What would our lives be different	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
21	76	9	especially for women 他：11行many women	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (家事は女性の役割と誤解するおそれ)	3-(3)	
22	97	14	ギャップ・イヤー	表記が不統一である。 (13行ギャップイヤーに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
23	107	下段右	英語では…強く呼気を出して	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一般的な閉鎖音の発音の仕方だと誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-241		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	7	下段	4th Step (全体) 他：8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15ページの4th Step (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、用語や用法の指導に偏ることがないように適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)	
5	10	吹き出し1行	680¥	誤記である。	3-(2)	
6	17	29	My favorite sport is rugby	不正確である。 (「強勢が置かれる」との対応)	3-(1)	
7	25	28 - 29	斜体のr (3箇所)	相互に矛盾している。 (「こもったrの音が入ります」との対応)	3-(1)	
8	27	6 - 8	次の落とし物の持ち主がどんな人かを予想して話そう。	生徒にとって理解し難い問いである。 (どのように活動するのか理解し難い。)	3-(3)	
9	27	イラスト3	CHIP	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-241		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	33	30	that theの発音表記	不正確である。	3-(1)	
11	38	14 - 17	TASK 他：51ページ上, 54ページ, 59ページ上のTASK, 66ページの14行とTASK, 71ページ上, 82ページ, 87ページのTASK	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
12	41	29	builtの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
13	44	写真左	横浜大飯店	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
14	49	図	Endangered Languages	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
15	49	10 - 11	don't have letters for writing	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	55	5 - 8	TASK (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (ペアになって話すための手順が示されておらず, 活動出来ないおそれ)	2-(1)	
17	57	29	消える/t/や/d/	相互に矛盾している。 (30行decided toやget toとの対応)	3-(1)	
18	76	24	so our	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
19	77		Tips for English Expression 3 (全体) 他：93ページTips for English Expression 4 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-241		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
20	119	17	“Frozen”	不正確である。 (タイトルの表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-242		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	全体	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(ア)の「…日常的な話題について…自分自身の状況や要望を伝え、相手の意向を把握しながら交渉したりする活動。)	2-(1)	
2	7		4th Step (全体) 他: 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15ページの4th Step (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、用語や用法の指導に偏ることがないように適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)	
3	10	吹き出し1行	680円	誤記である。	3-(2)	
4	26	17	Friday	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	
5	26	19	shouldは「すべきだ」という義務の意味を表す。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
6	28	8	I will be eager	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	31		2. スクリプトを書いてみよう (全体) 他: 3. 実際に演じよう (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習活動について誤解するおそれ)	3-(3)	
8	36	29	our hard work was rewarded	英語の現代慣用によっていない。 (rewarded)	固有 2-(1)	
9	42	11 - 13	TASK 他: 103ページ9-14行CHECK	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
10	44	31	what we can	英語の現代慣用によっていない。 (動詞がない。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 103-242		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現Ⅱ	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	48	34	real face-to-face communications	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)	
12	54	5	using a style	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
13	55		Tips for English Expression 3 (全体) 他: 65ページTips for English Expression 4 (全体), 105ページ Tips for English Expression 5 (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	
14	68	1 - 2	we have to consider this unique mentality	英語の現代慣用によっていない。 (have to)	固有 2-(1)	
15	74	28	an onsen	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
16	90	30	However we believe	英語の現代慣用によっていない。 (コンマがない。)	固有 2-(1)	
17	125	5	on line	表記が不統一である。 (38ページ脚注3行onlineに照らして、表記が不統一)	3-(4)	
18	127	17	"Frozen"	不正確である。 (タイトルの表記)	3-(1)	
19	127	30	a nice hotel ... and	誤植である。 (塗色がない。)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。